



滑走路側

本施設の設置は「能登地域半島振興計画」や「世界に開かれた文化のくにづくり構想」に盛り込まれ、能登地域の高速交通体系整備の重点施策として整備を進めたものである。その目的は、空港を配置し、空港を活用した地域振興を図ることにある。また、空港開港により、地震等大規模被災時における能登地域の広域防災拠点や、日本海沿岸の海難救助や漁業監視等の拠点としての機能も期待されるところである。



アトリウム空間



待合室



正面玄関側

広域交流拠点機能の中核的施設：行政機関を集積した奥能登行政センターを合築

正面側庇：美林に覆われた奥能登の山々の連なりをイメージ

アトリウム空間：空港ターミナルと奥能登行政センターが有機的に結合

環境型工事：土砂の搬入出を最小限にする工夫、伐採樹木の再活用、希少動植物の保護・移植



旅情報センター



固定橋

：床タイル

DATA

輪島市三井町地内
 平成13年12月～平成15年4月
 SRC造：地上4F、B1F
 9,491㎡